

「第2回小丸川・一ツ瀬川水系水防災意識社会再構築協議会」開催

小丸川・一ツ瀬川流域等の市町村、県、気象庁、国が連携・協力し、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的、計画的に推進することにより、社会全体で常に洪水に備える「水防災意識社会」を再構築することを目的として平成29年6月に設置した「小丸川・一ツ瀬川水系水防災意識社会再構築協議会」の第2回協議会を開催しました。

今回の協議会では、小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間の減災に係る取組方針の設定等を行いました。

開催概要

- 日時：平成30年1月22日（月）
- 会場：高鍋町役場3階大会議室

協議会の出席者

機関名		所属等	氏名	代理出席
国土交通省	宮崎河川国道事務所	事務所長	鈴木 彰一	
気象庁	宮崎地方气象台	台長	小泉 岳司	
宮崎県	総務部 危機管理局	局長兼危機管理課長	藪田 亨	
		河川課長	高橋 秀人	
	県土整備部	砂防課長	米倉 昭充	
		西都土木事務所	所長	森 茂雄
	高鍋土木事務所	所長	川野 福一	
宮崎市		市長	戸敷 正	危機管理局長 宮本 兼治
西都市		市長	押川 修一郎	危機管理課長 黒木 政博
高鍋町		町長	黒木 敏之	
新富町		町長	土屋 良文	
木城町		町長	半渡 英俊	副町長 横田 学
川南町		町長	日高 昭彦	
都農町		町長	河野 正和	
西米良村		村長	黒木 定藏	
〇アドバイザー			宮崎大学名誉教授 杉尾 哲	

議事内容

- ・平成29年被害状況及びタイムライン・ホットライン活用状況報告
- ・水防法改正に伴う規約の改正について
- ・小丸川・一ツ瀬川流域等県管理区間の減災に係る取組方針の設定等
 - ※ 宮崎県独自の取組として、「土砂災害」に係る取組についても設定。

委員の方の主な発言

- ・自治体が避難情報を発しても住民が避難しない実態がある。住民自らが地域の危険箇所を知ることができるマイ防災マップ作りなど住民の意識を高める取組が重要。（杉尾アドバイザー）
- ・河川整備には時間がかかるが、できるだけ早く整備を進めていただきたい。（流域等市町村委員）
- ・県では、本年度、小丸川及び一ツ瀬川で「想定される最大規模の洪水」を対象とした浸水想定区域を検討中であり、公表に向け、今後、関係市町村への説明を行う。また、危機管理型水位計の設置についても検討を進めている。（宮崎県河川課）

